

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。動物園の「幅崎」です。授業の方は、そろそろ動物の行動のあたりでしょうか。今日は、たまたま別の作業で立ち寄った「は虫類館」から「NEWS」です。「は虫類館」は、西門の側にある遊園地の上にあります。熱帯植物館(温室)や昆虫館と棟続きの建物です。ここの担当は、新聞にもたびたび登場する「トビのフライト訓練＝鷹匠体験」で有名な「本田」さんです。この日は、植物館の管理を担当していたのですが、向こうをのぞくと「シマヘビ」が、水に出たり入ったり、からだをくねらせているではありませんか。(ちょうど脱皮中でした。)急いでカメラをとって戻ると「ニシキヘビ」の食事たいむ!。つつい仕事を後回しにして、観察してしまいました。

みなさんも動物園でじっくりと時間をかけて観察、今まで気づかなかった動物のすがたを文章、スケッチ、デジカメなどでレポートを作ります。できたレポートは学校に出してくださいね。では、また。

動物園案内

中学生の皆さんは無料ですが、高校生以上の兄・姉・保護者の皆さんは「年間パスポート」がおすすめです。購入日から1年間、何度でも入園できます。



「本田」さんが、「ニシキヘビにえさをあげます。」といってネズミ(ラット)を2匹ぶら下げて飼育室へ。ネズミは調整室で活け締めしたものです。(残酷と思わないでください。私たちがいただきます)と他の生物の命を食べているのです。食べ物を無駄にするということは命を無駄にするということと同じです。)与え方は、「棒の先につけてヘビの前で揺らします。」(写真左)するとヘビは、「からだを巻き付けて、頭をかじります。」(写真中)しばらくして「口を大きく開けて丸ごと飲み込みます。」(写真右)このとき「あごがはずれる」といわれているのですが、本当は「あごの骨格はゴムみたいに伸縮するのではずれていない」そうです。約10分で全身をのみ込んでしまいました。えさは、間隔をあけて与えます。また、地面に接している面積が多いほど太っているヘビで理想的な断面は楕円形だそうです。ヒト

「ニシキヘビ」はおとなしい(動物園での映像ではありません。)



もヘビもやせすぎ、太りすぎはいけませんね。ところで円山動物園では2頭飼育していますが、色が全く違います。なぜでしょうか?(有鱗目ヘビ亜目ボア科 ビルマニシキヘビ)